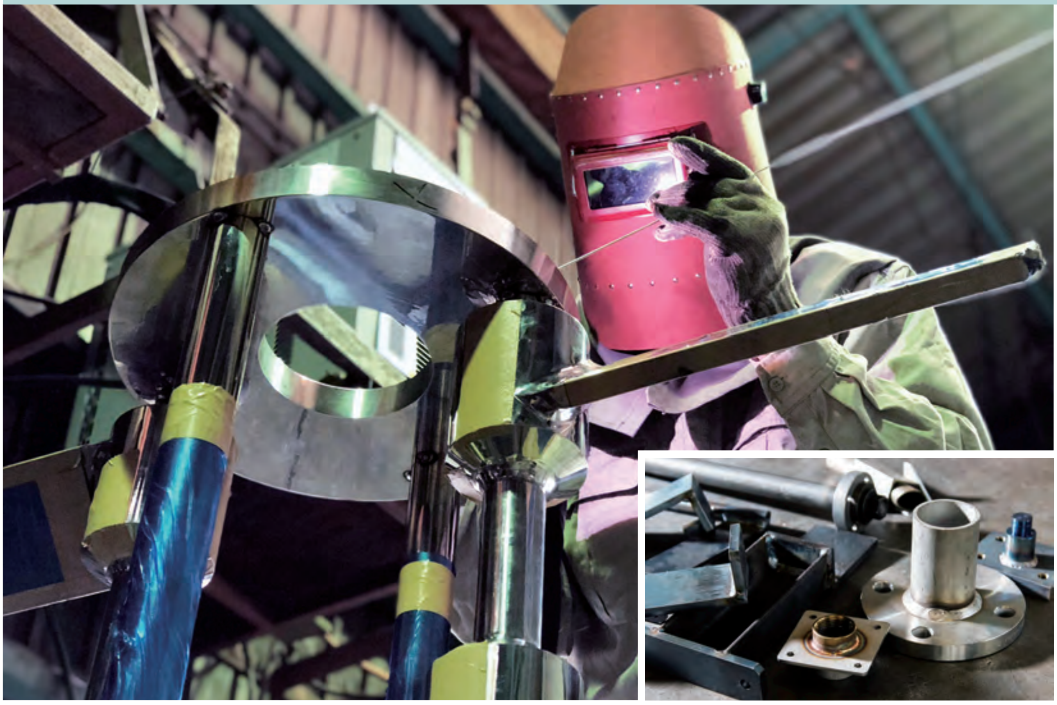
柊谷熔接所（ひらぎたに）

幅広い材質の素材を多種多彩に溶接

納期相談
コスト相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可小ロット


職人がお客様と直接対話し、お客様の希望に多種多彩な溶接で応えます／小ロット・単品なども丁寧に対応します

業務内容

小ロット、短納期が信条

さまざまな素材を手のひらサイズから1tの大物まで幅広く溶接加工し、産業機械や建築金物メーカーなどに納品する。創業した父の柊谷延廣（ひらぎたにのぶひろ）氏と2名で、多種多彩な溶接技術を駆使し、顧客のさまざまなオーダーに応える。従業員15名程度の中規模工場に匹敵する種類の溶接機を備え、多種多様な仕事をワンストップでこなす。今では技能者が減って、加工が難しい真ちゅうや銅のロウ付け溶接なども請け負う。

「『小規模の強みである小回りの良さ』を生かした短納期が強み」と柊谷篤司代表は語る。小ロットにも快く対応する。

強み

さまざまな材質に対応

素材は鉄、ステンレス、鋼のほか、アルミニウム、真ちゅう、銅といった軽金属まで、扱える材質は幅広い。それぞれの溶接機の特性を組み合わせる事で精度の高い溶接を実現。このため、同業から仕事が舞い込む”横請け“も珍しくない。

金属加工の町工場が集積する地元・九条のものづくりネットワークも強みだ。ものづくりネットワークは、町工場の後継者7名で構成する「てづくり工場組合」。鋼材やプレス、溶接といった事業者が連携。それぞれの強みを生かし、相互に補完し合い、課題を解決するとともに、「鐵のまち 九条」のブランド育成を目指している。

顧客第一

「小規模の良さ」をどう生かせるか

「お客様の希望に寄り添い続ける溶接屋でありたい」――。そう熱く語る柊谷代表は、かつて大手企業のシステムエンジニアだったが、鉄工所勤務などを経て家業である溶接所を引き継いだ。ITよりも溶接に魅了されたのは「ものづくりに魅力がある」から。40歳が目前の柊谷代表は、経営者としても技能者としても脂が乗る時期だが、会社の規模拡大を目指すのではなく、「小規模の良さ」をどう生かせるかを追求する。

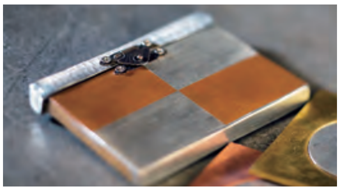
小規模にこだわるのは「お客様と直接関われる」からだ。「自分でやりたい。責任を持って受注した仕事は限界はあるが挑戦したい」という。

今後の展望

ホームページで町工場の魅力を発信

同社は現在、経済産業省の「小規模事業者持続化補助金」を使って、ホームページを開設した。ホームページを通じて技術や納期、対応の柔軟性、メディアなどに取り上げられている自社の取り組みなど広くアピールし新規顧客の獲得につなげる狙いだ。

「小規模の良さ」を生かして新規顧客を開拓するためにも、目に触れる機会が格段に増えるホームページは有効だ。かつてITの世界に身を置いていた柊谷代表の経験を生かし、ホームページを基盤とし、「鐵のまち 九条」を武器にオリジナル製品の開発・普及を目指す。


ステン・銅・真ちゅうなど異種金属のろう付けも対応

厚板などもTIG溶接で外観を綺麗に溶接

当社の歴史

大阪 29

昭和52年に大阪市西区の自宅1階を使って創業しました。取引先の要望に応えられるよう、溶接機や設備を増やして現在の業態になりました。多種多彩な溶接技術を駆使し、小規模業者の利点を生かし、今に満足することなく、向上と探求に努めます。「鐵のまち 九条」をもっと発信していきたいと思っています。

代表 **柊谷（ひらぎたに） 篤司**さん

http://www.hiragitani-welding.com/

主な事業内容

ステンレス・鉄・鋼・アルミ・真ちゅうなど各種金属の溶接加工

主な取引先（納入先）

産業機器メーカー、機械部品メーカー、建築金物メーカー

●住　所	〒550-0025 大阪市西区 九条南3-23-23
●ＴＥＬ	06-6581-1805
●ＦＡＸ	06-6581-1805
●創　業	昭和52年4月
●設　立	昭和52年4月
●資本金	500万
●従業員	2名